

深層水を利用してハタハタを育てる

研究分野

海洋深層水を利用する。

ねらい

- ・ ハタハタの漁獲量を増やす方法として、稚魚を大量生産して放流することが考えられます。そのためには、ハタハタを卵から親まで成長させる技術開発が必要になります。
- ・ ハタハタは、水温が13℃以上になると死亡しますので、海洋深層水と表層海水を用い水温を3～9℃とし、稚魚から親になるまで飼育を行いました。

成果

- ・ ハタハタは、生後1年で全長が約11cm、2年で約15cm、3年で約18cmに成長しました。
- ・ ハタハタは、生後約1年10カ月から2年の間に、初めて産卵をすることが分かるとともに、3,093尾の親魚から326個の卵塊が得られました。
- ・ これらの結果から、卵→仔魚→親魚→卵のサイクルを人工的な環境下で繰り返させること（完全養殖）ができるようになりました。

活用

- ・ 今後、ハタハタを効率的に大量生産する技術の開発に役立てることができます。



約 20cm に成長した 3 歳魚



人工藻に自然産卵された卵塊

研究実施期間
問い合わせ先

平成 9 年度～平成 14 年度
富山県水産試験場 (076-475-0036)